

科目名	幼児と音楽表現		担当教員	高木 彩也子	
単位	1単位	講義区分		ナンバリング	
期待される学修成果					
アクティブラーニングの要素	グループワーク				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	領域「表現」のねらいと内容の理解に基づいて、幼児の生活や遊びにおける「表現」の姿を具体的に説明することができる。保育者に必要な基礎的発声法を身に付け、自然な発声で歌うことができる。自身の歌唱力と表現力を豊かにし、幼児の表現意欲を高める活動を提示する力を身につける。				
授業の概要	「うたうこと」は自らの声による自己表現活動であり、うたあそびによる保育は、各領域をつなぐ役割を担っている。本授業では、領域「表現」の趣旨の理解に基づき、「うたう活動」を中心に、幼児の感性と創造性を豊かに育む様々な表現活動を実践的に学ぶ。				

授業計画	
第1回	授業ガイダンス（授業内容の説明、授業の概略と展開について）
第2回	保育内容 領域「表現」のねらい及び内容を理解する。乳幼児の音楽的発達過程を学ぶ。
第3回	声の特性と発声法①（保育者に求められる自然な発声の実践）
第4回	声の特性と発声法②（保育者に求められる自然な発声の実践）
第5回	発達段階に応じた「うたう活動」の実践、保育者のかかわり①：0歳児
第6回	発達段階に応じた「うたう活動」の実践、保育者のかかわり②：1歳以上3歳未満児
第7回	発達段階に応じた「うたう活動」の実践、保育者のかかわり③：3歳以上児
第8回	うたうことと聴きあうこと（斉唱、交互唱、カノン唱）
第9回	「うたう活動」における保育者の表現力①（子どもの歌に寄り添うピアノ伴奏の実践）
第10回	「うたう活動」における保育者の表現力②（子どもの歌に寄り添うピアノ伴奏の実践）
第11回	「うたう活動」における指導案の作成と模擬保育準備（1）（グループワーク）
第12回	「うたう活動」における指導案の作成と模擬保育準備（2）（グループワーク）
第13回	模擬保育研究、グループ発表①
第14回	模擬保育研究、グループ発表②
第15回	まとめ

事前学修	0.5時間	就学前の乳幼児の発達段階を理解し、音楽を通じた表現の理論と実践を考えておく。第11～14回：指導案の見直しと発表準備。
事後学修	0.5時間	授業で学んだ理論や実践内容をその都度振り返り整理する。授業内で歌った曲を、自然な発声法を意識して歌っておく。第11～14回：模擬保育実施に向けて、作成した指導案をもとに準備、練習、確認しておく。
フィードバックの方法	各授業のレポート内容にコメントで説明する。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	40%	音楽表現を通して、領域〈表現〉の在り方を考えることができるかを評価する
定期試験	0%	実施しない
上記以外の試験・平常点評価	60%	歌唱活動への参加度、グループワークや授業態度、模擬保育からみる主体性や対話性を評価する

補足事項	
------	--

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
資料配布	なし	なし	なし	なし
参考資料	幼児歌曲集、幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領			